

無償資金協力（平成29年度）（セントルシア）
無償資金協力「カルデサック流域橋梁架け替え計画」署名式の開催

2017年8月22日
在トリニダード・トバゴ日本国大使館
経済・開発協力班

9日、無償資金協力「カルデサック流域橋梁架け替え計画」の署名式が、セントルシアの首都カストリーズにて開催されました。本事業は、ハリケーンや豪雨によりカルデサック川流域の氾濫で被災するリスクのあるカルデサック橋とラヴィン・ポアソン橋を架け替えることにより、幹線道路交通の自然災害リスクを軽減し、セントルシアの防災、環境対策に寄与する目的で、15.3億円の無償資金が供与されたものです。

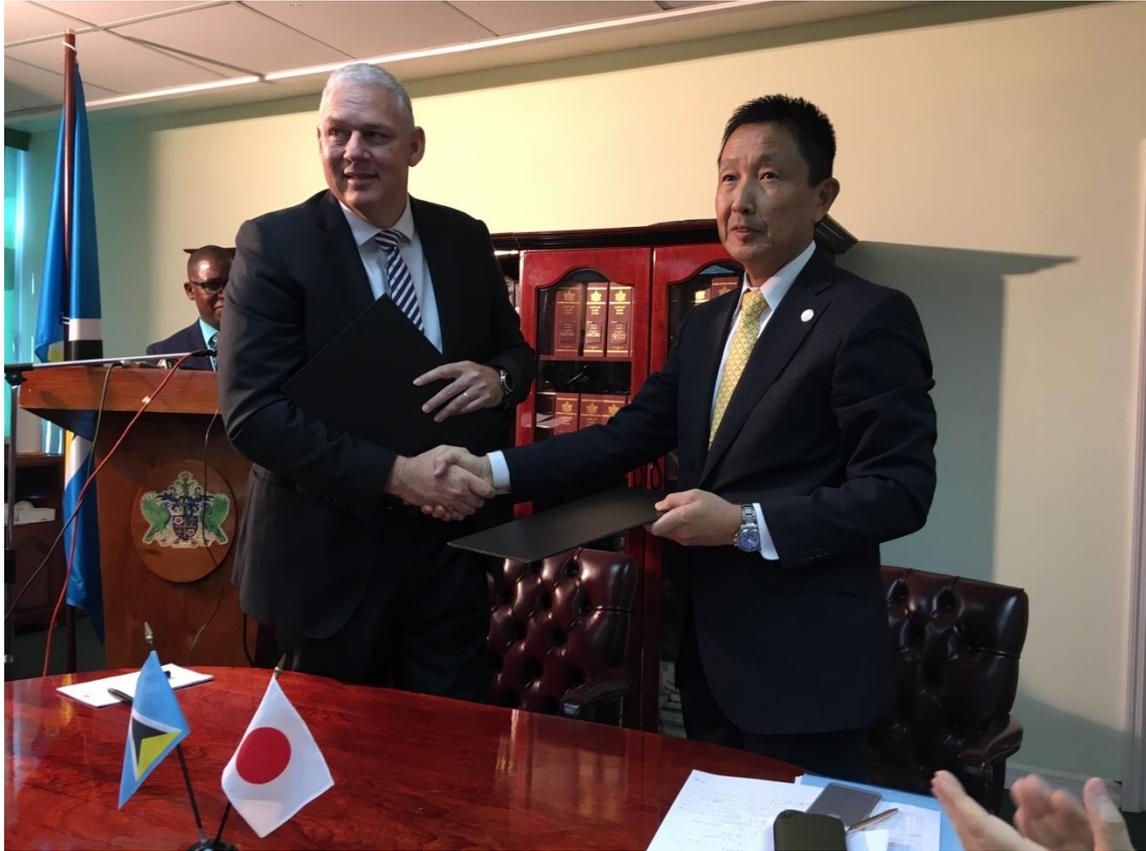
同式典には、先方からシャスネ首相、キング・インフラストラクチャー・港湾・エネルギー・労働大臣、ジョセフ・農業・漁業・国土計画・天然資源・協同組合大臣他の先方政府関係者が参加し、我が方からは岡田大使が出席しました。

挨拶の中で岡田大使は、気候変動が急速に進む中、セントルシアをはじめとする小島嶼開発途上国では、自然災害のリスクが高まっていることから、カリブ地域における日本の無償資金協力の最近の焦点は、気候変動に対する適応と緩和の分野となっており、本件は、自然災害への対応能力の強化に焦点を当てている旨を述べました。

シャスネ首相は、2016年にハイチで発生したハリケーン・マシューの大規模な被害状況に触れつつ、今回の日本政府によるセントルシアへの援助は、小島嶼開発途上国における気候変動への適応対策としてのインフラ整備の一環ととらえることができ、セントルシアの多くの人々の生命と財産を守るためのプロジェクトであり、深く感謝している旨述べました。

日本国政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を強めるため、様々な分野でセントルシアに対する支援を実施していく考えです。

お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: +(1-868)-628-5991 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp



岡田大使（右）とジャスネ首相（左）による口上書交換

お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: +(1-868)-628-5991 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp